

令和4年度

学習のねらいと進め方

各教科のシラバス

《第1学年》



大阪府立咲くやこの花中学校

教科	国語	学年	1	週当たり時間数	4
----	----	----	---	---------	---

### 1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業では、課題に対して、自ら考え、周りの人と協働で考える活動を行います。</li> <li>・様々な文章を「読む能力」を向上させるとともに、意思を伝えるための「書く能力」をしっかりと身につけてください。</li> <li>・家庭学習における課題は、定期的に提出してもらいます。最後まであきらめずに取り組みましょう。授業中のノートについては板書を書き写すだけでは、評価の対象になりません。授業のポイントや自身で気づいたことやクラスメイトの発言した内容などをノートの枠外に記入しましょう。</li> </ul>
---

### 2 学習の到達目標

<p>言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することをめざす。</p> <p>（１）生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。</p> <p>（２）論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。</p> <p>（３）言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</p>
---

### 3 成績評価の方法                      それぞれの観点ごとの到達度を A,B,C で示します。

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使っている。	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通じて積極的に他者と関わったり、思いや考えを深めたりしながら、言葉のもつ価値への認識を深めようとしているとともに、言語感覚を磨き、言葉を効果的に使おうとしている。
評価基準	到達度 80%以上 … A（十分満足できる） 到達度 50～79% … B（おおむね満足できる） 到達度 0～49% … C（努力を要する）		
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ノート</li> <li>・ワークシート</li> <li>・定期考査</li> <li>・小テスト</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ノート</li> <li>・ワークシート</li> <li>・定期考査</li> <li>・小テスト</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ノート</li> <li>・ワークシート</li> </ul>

\*通知票には各観点の到達度（A,B,C）に加え、各観点の到達度の平均値（0～100）も示します。

教科	数学	学年	1	週当たり時間数	4
----	----	----	---	---------	---

1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業では、課題に対して、自ら考え、周りの人と協働で考える活動も行います。</li> <li>・問題集もしっかり自分で解いてみましょう。また、各自で答え合わせを行い、間違えたところをやり直しましょう。</li> <li>・家庭学習の課題は、定期的に提出してもらいます。最後まで諦めずに取り組みましょう。</li> </ul>
---

2 学習の到達目標

<p>数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを旨とする。</p> <p>(1) 数量や図形などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 数学を活用して事象を論理的に考察する力、数量や図形などの性質を見いだし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。</p> <p>(3) 数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度を養う。</p>
--

3 成績評価の方法                      それぞれの観点ごとの到達度を A,B,C で示します。

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
観 点 の 趣 旨	数量や図形などについての基礎的な概念や原理・法則などを理科している。事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。	数学を活用して事象を論理的に考察する力、数量や図形などの性質を見いだし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付けている。	数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとしたり、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとしたりしている。
評 価 基 準	到達度 80%以上 … A（十分満足できる） 到達度 50～79% … B（おおむね満足できる） 到達度 0～49% … C（努力を要する）		
評 価 方 法	定期考査 確認テスト	定期考査 確認テスト	提出ノート 提出課題

\*通知票には各観点の到達度（A,B,C）に加え、各観点の到達度の平均値（0～100）も示します。

教科	社会	学年	1	週当たり時間数	3
----	----	----	---	---------	---

## 1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

社会科を暗記科目だと思っている人がいるかもしれませんが、決してそれだけではありません。もちろん個々の人名や語句を覚えることも大切です。その上で、覚えた知識をもとに、歴史なら現在との違いやつながりを考察したり、地理なら世界の国と日本を比べたりすることができるようになっていきたいと思います。社会科の知識は自分の生活に活用していくことができます。普段からニュースに関心を持ち、新聞を読むように心がけましょう。また、いろいろなテーマや学習方法を決め、主体的に学習したり、各自が地域に出かけて調べ学習をしたりすることもあります。授業の中では、常に「なぜだろう？」という疑問を持ち、積極的に意見を発表しましょう。また、他の人の意見も聞くようにして、思考を深めていきたいと思います。3学期には「探究活動」として1人が1か国を担当して、「世界のさまざまな地域調査」を行います。楽しみにしててくださいね。1年間、一緒にがんばっていきましょう。

- ・地理的分野と歴史的分野について1年間学習をすすめていきます。
- ・授業では、課題に対して、諸資料をもとに自ら考えたり、調べたりしたうえで、周りの人と共同で考える活動を行います。
- ・テーマを設定し、調べたり意見を発表したりする活動も行います。
- ・授業中のノートは板書を写すだけではなく、自分の意見をメモや他者の意見のメモを取り、自身の思考の変化を記録しておきましょう。
- ・探究活動として「世界のさまざまな地域の調査」に取り組みます。「課題設定」「調査・分析」「まとめ」「発表」の手順で探究活動の基礎・基本を学びましょう。探究活動は3年間「都道府県調査」「卒業レポート」と続きます。

## 2 学習の到達目標

社会的事象の地理的・歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を迫及したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を育成することをめざす。

### 【地理的分野】

- (1) 我が国の国土および世界の諸地域に関して、地域の諸事情や地域的特色を理解するとともに、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を効果的に調べまとめる技術を身に付けるようにする。
- (2) 地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて公正に選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それを基に議論したりする力を養う。
- (3) 日本や世界の地域に関わる諸事情について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に迫及、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとする大切さについての自覚などを深める。

### 【歴史的分野】

- (1) 我が国の歴史の大きな流れを、世界の歴史を背景に、各時代の特色を踏まえて理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べ、まとめる技能を身に付けるようにする。
- (2) 歴史に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して多面的・多角的に考察したり、歴史にみられる課題を把握し、複数の立場や意見を踏まえて公正に選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
- (3) 歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に迫及、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される我が国の歴史に対する愛情、国民としての自覚、国家及び社会並びに文化の発展や人々の生活の向上に尽くした歴史上の人物と現在に伝わる文化遺産を尊重しようとする大切さについての自覚などを深め、国際協調の精神を養う。

3 成績評価の方法      それぞれの観点ごとの到達度を A,B,C で示します。

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	我が国の国土の歴史、現代の政治・経済、国際関係等に関して理解しているとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べ、まとめている。	社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的、多角的に考察したり、社会にみられる課題の解決に向けて選択・判断したり、それを基に議論したりしている。	社会的事象について、国家及び社会の担い手として、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとしている。
評価基準	到達度 80%以上 … A (十分満足できる) 到達度 50～79% … B (おおむね満足できる) 到達度 0～49% … C (努力を要する)		
評価方法	定期考査 ノート	定期考査 ノート	ノート 観察

\* 通知票には各観点の到達度 (A,B,C) に加え、各観点の到達度の平均値 (0～100) も示します。

教科	理科	学年	1	週当たり時間数	4
----	----	----	---	---------	---

### 1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

予習よりも復習を中心に学習してください。その日に習ったことはその日のうちにしっかりと整理しておくことが大切です。また、問題集を解くことによって、自分の理解度を確認することができます。問題集を解いて、できなかつたところをノートや教科書を見直して確認してください。せっかく問題を解いてもやりっ放しでは、効果は半減します。また、普段から自然科学に興味を持って生活するように心がけましょう。

### 2 学習の到達目標

- 自然の事物や現象についての、基礎的・基本的な知識の定着を図ります。
- 自然の事物や現象についての理解を深める実験や観察を行い、その中で自然に対する興味・関心や、進んで関わろうとする態度を養うことをねらいます。
- 発展的な学習を通して、自然科学に対する興味・関心をさらに深めていきます。

### 3 成績評価の方法                      それぞれの観点ごとの到達度を A,B,C で示します。

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	自然の事物・現象についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察・実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。	自然の事物・現象の中から問題を見だし、見通しをもって観察、実験を行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的な探究をしている。	自然の事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
評価基準	到達度 80%以上 … A（十分満足できる） 到達度 50～79% … B（おおむね満足できる） 到達度 0～49% … C（努力を要する）		
評価方法	授業における観察 レポートの作成 ペーパーテストの結果	授業における観察 レポートの作成・発表 ペーパーテストの結果	授業における観察 ノート等への記述 課題の提出状況と内容

\* 通知票には各観点の到達度（A,B,C）に加え、各観点の到達度の平均値（0～100）も示します。

教科	英語	学年	1	週当たり時間数	4
----	----	----	---	---------	---

### 1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

英語の授業ではペア学習やグループ学習の機会が多くあります。友達と協力してお互いの力が伸ばせるよう積極的に活動しましょう。また、音読の練習にも力を入れましょう。英語の音声聞いて、できるだけそれを真似して発音しようとする事で、発音の力だけでなくリスニング、スピーキングの力を伸ばすことができます。

### 2 学習の到達目標

領域	聞くこと	読むこと	話すこと (やり取り)	話すこと (発表)	書くこと
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>聞き取りの観点を与えられ、2度繰り返されれば、身近な話題についての話の中で重要な点を理解することができる。</li> <li>教師による英語での簡単な指示を聞いて、その意味を理解することができる。</li> <li>日常生活で使う数字、曜日や月を聞いて理解できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>身近で日常的なテーマに関する簡単なまとまった文章を読んで、絵や写真を参考にしながら、その概要や要点を理解することができる。</li> <li>英語の意味順、センスグループで英文を理解することができる。</li> <li>日常生活の簡単な語や語句、文を理解することができる。</li> <li>既習の文章をスムーズに音読できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>質問に対して、主語と動詞のある文で答えることができる。</li> <li>簡単な質問をすることができる（名前、好きなこと、時刻など）。</li> <li>自分の1日の生活について説明したり、相手に聞いたりすることができる。</li> <li>場面に応じて、簡単な表現を使ってやり取りができる（買い物、道案内、依頼など）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>事前に準備をすれば、自分や第三者について、一般動詞を含む文で簡単に紹介することができる。</li> <li>感情を込めた、朗読を正しい発音を意識しながら発表することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>関心のあることや日常的事、自分や第三者について、メモやモデルを参考にしながら、語順を意識して書くことができる。</li> <li>フォニックスを手掛かりにしながら、文字を書くことができる。</li> <li>文を書くときに、辞書を効果的に使いながら書くことができる。</li> </ul>

### 3 成績評価の方法 それぞれの観点ごとの到達度を A,B,C で示します。

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
観 点 の 趣 旨	外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解するとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的话题や社会的な話題について、外国語で簡単な情報や考え方を理解したり、これらを活用して表現したり伝え合ったりしている。	外国の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。
評 価 基 準	到達度 80%以上 … A（十分満足できる） 到達度 50～79% … B（おおむね満足できる） 到達度 0～49% … C（努力を要する）		
評 価 方 法	定期テスト（リスニング） 定期テスト（リーディング） パフォーマンステスト ライティング（授業、宿題）	定期テスト（リスニング） 定期テスト（リーディング） パフォーマンステスト ライティング（授業、宿題）	定期テスト（リスニング） 定期テスト（リーディング） パフォーマンステスト ライティング（授業、宿題）

\*通知票には各観点の到達度（A,B,C）に加え、各観点の到達度の平均値（0～100）も示します。

教科	音楽	学年	1	週当たり時間数	1.5
----	----	----	---	---------	-----

### 1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・「歌う」「楽器を演奏する」「音楽を聴く」ことを年間通して学習します。音楽の学習は、クラスメイトとともに実際にやってみて、試してみても価値あるものとなり、そうして感性が豊かになります。協力して作り上げることが大切です。</li> <li>・学習の到達度は、授業内での実技テストや筆記テスト、配付するワークシートの取り組み内容で評価します。</li> </ul>
---

### 2 学習の到達目標

音楽の幅広い活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深める。
--

### 3 成績評価の方法      それぞれの観点ごとの到達度を A,B,C で示します。

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付け、創造的に表している。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、歌唱、器楽、創作の音楽表現を工夫し、どのように歌うか、演奏するか、音楽をつくるかについて表現意図をもっている。	音楽や音楽文化に関心をもち、歌唱、器楽、創作、鑑賞の学習に主体的に取り組もうとする。
評価基準	到達度 80%以上 … A (十分満足できる) 到達度 50～79% … B (おおむね満足できる) 到達度 0～49% … C (努力を要する)		
評価方法	実技テスト 観察 ワークシート	実技テスト 観察	観察 ワークシート

\*通知票には各観点の到達度 (A,B,C) に加え、各観点の到達度の平均値 (0～100) も示します。



教科	美術	学年	1	週当たり時間数	1.5
----	----	----	---	---------	-----

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

美術を通して「表現する楽しさ」「分かちあう喜び」「豊かな心で感じ合うこと」を体験して欲しいと思います。  
 気持ちを込めて作ること、自分が表現したいことを掘り下げることを、感じたことや考えたことを伝え合うことを大切に、取り組みましょう。  
 作品だけでなく、アイデア用紙、鑑賞レポートなども、評価の対象になります。

2 学習の到達目標

- ・楽しく美術の活動に取り組む。
- ・自然の造形や美術作品のよさや美しさを感じ取り、表現意図や美術の働きについて考え、見方や感じ方を広げる。
- ・心豊かに発想・構想し、創造的に表現する。
- ・用具や道具などを大切に扱い、準備や片付けを協力して行う。

3 成績評価の方法                      それぞれの観点ごとの到達度を A,B,C で示します。

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・対象や事象を捉える造形的な視点について理解している。 ・意図に応じて表現方法を工夫して表している。	自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、機能性と美しさの調和、美術の働きについて考えるとともに、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や考え方を広げたりしている。	美術の創造活動の喜びを味わい楽しく表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
評価基準	到達度 80%以上 … A (十分満足できる) 到達度 50～79% … B (おおむね満足できる) 到達度 0～49% … C (努力を要する)		
評価方法	ワークシート 作品	ワークシート 作品・ 鑑賞	振り返りシート 鑑賞

\*通知票には各観点の到達度 (A,B,C) に加え、各観点の到達度の平均値 (0～100) も示します。

教科	保健体育	学年	1	週当たり時間数	3
----	------	----	---	---------	---

### 1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

<b>授業の進め方</b>	
● <b>体育</b>	・1年間を通し「ランニング、トレーニング(3種目)」を継続して行い、基礎体力の向上をはかる。 ・单元ごとの「ねらい」に応じて、学習目標・計画をたて、練習する。 ・ゲームなどを行い、記録をとりながら、練習の成果をためす。 ・体育理論は1年間で3時間の授業を行う。
● <b>保健</b>	・1年間で8時間の授業を行う。 ・教科書「中学保健体育」を中心に、「中学保健体育の学習」を使用し授業を進める。
<b>ノートの取り方</b>	
●	单元ごとに提示される「学習カード」を使用し、要点の整理や確認をする。
●	「保健体育ノート」を使用し、要点の整理や確認をする。
<b>家庭学習(予習・復習)のしかた</b>	
<b>予習</b>	授業中に次回の予告をするので、体育は「中学体育実技」、保健は「中学保健体育の学習」の該当ページを読んでおく。
<b>復習</b>	● <b>体育</b> ・「中学体育実技」を使い要点を整理し確認する。 掲示された「学習カード」の内容を「中学体育実技」を使い確認する。 ● <b>保健</b> ・「中学保健体育の学習」のまとめの問題をする。

### 2 学習の到達目標

●	心と体を一体としてとらえ、運動や健康・安全についての理解と運動の合理的な実践を通して、積極的に運動に親しむ能力や態度を育てる。
●	健康の保持増進のための実践力を養い、体力の向上を図り、明るく豊かな生活を営む態度を育てる。

### 3 成績評価の方法

それぞれの観点ごとの到達度を A,B,C で示します。

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・各領域の運動の特性に応じた、基本的な技能を身につけている。 ・健康や安全について、基本的な知識を理解し、実践している。	・運動場面において、自己の課題解決に向けて考え、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 ・健康や安全について、課題解決をめざし、科学的に考えている。	・運動に関心を持ち、楽しさや喜びを経験できるよう、進んで取り組もうとしている。 ・健康や安全に関心を持ち、進んで学習に取り組もうとしている。
評価基準	到達度 80%以上 … A (十分満足できる) 到達度 50～79% … B (おおむね満足できる) 到達度 0～49% … C (努力を要する)		
評価方法	授業における観察 定期テスト	授業における観察 実技テスト(基本) 定期テスト	授業における観察 授業の出席状況 ノート、ワークシート

\* 通知票には各観点の到達度 (A,B,C) に加え、各観点の到達度の平均値 (0～100) も示します。

教科	技術家庭（技術）	学年	1	週当たり時間数	2
----	----------	----	---	---------	---

### 1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

技術は、よりよい生活を送るために、生活に必要な知識や技術を理解し、実際の生活の中でいろいろな課題を解決する方法を学習します。学習したことを実際の生活の中で生かすことができるようにしっかり勉強しましょう。  
 実習をおこないますので、注意事項をよく聞いて、安全第一を心がけて作業をしてください。

### 2 学習の到達目標

- ・教科書・ノート・プリント等を中心に、知識の習得や理解を深めます
- ・実習や体験的な学習活動を通じて、技術の習得とそれらを適切に活用する力と態度を身につけ、仕事の楽しさや完成の喜びを体得することを目指します
- ・なお、学級の半数の生徒が技術を、残りの半数が家庭科を受講し、年度の中頃で交代します

### 3 成績評価の方法                   それぞれの観点ごとの到達度を A,B,C で示します。

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
観 点 の 趣 旨	ものづくりを含め、技術分野全般に必要な基礎的な技術を身につけ、生活をよりよくするために知識と技能を身につける。	生活と技術のかかわりについて見直し、課題を見つけるとともに、その解決のために技術を、安全に注意し、適切に活用して工夫し表現する力をつける。	生活や産業の中での技術の役割について理解し、ものづくりを含め、技術分野全般に必要な基礎的な知識を身につける。
評 価 基 準	到達度 80%以上 … A（十分満足できる） 到達度 50～79% … B（おおむね満足できる） 到達度 0～49% … C（努力を要する）		
評 価 方 法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業態度</li> <li>・ノート・提出物</li> <li>・作品・技術点</li> <li>・定期考査</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業態度</li> <li>・ノート・提出物</li> <li>・作品・技術点</li> <li>・定期考査</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業態度</li> <li>・作品・技術点</li> <li>・定期考査</li> </ul>

\*通知票には各観点の到達度（A,B,C）に加え、各観点の到達度の平均値（0～100）も示します。

教科	技術家庭（家庭）	学年	1	週当たり時間数	2
----	----------	----	---	---------	---

### 1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

<ul style="list-style-type: none"> <li>・日常生活の中で、衣食住や家族の生活等に関する事などに関心を持ち、自分の生活を見つめ、その中から課題を見つけ、学習に取り組むようにしましょう。</li> <li>・生活の自立をめざし、家庭生活をよりよく豊かに創造する力を身につけるため、学習したことを活かして、すすんで家庭でも実践するようにしましょう。</li> <li>・家庭分野の学習については、実習等において準備物が必要になる場合があります。前日に持ち物の点検をするなどして、忘れ物のないようにしましょう。</li> </ul>
---

### 2 学習の到達目標

<p>実践的・体験的な学習活動を通じて、生活の自立に必要な衣食住に関する基礎的な知識・技術を習得するとともに家庭の機能について理解を深め、課題をもって生活をよりよくしようとする能力と態度を育てることをねらいとしています。</p>
--

### 3 成績評価の方法                      それぞれの観点ごとの到達度を A,B,C で示します。

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	家族・家庭の基本的な機能について理解を深め、生活の自立に必要な家族・家庭、衣食住、消費生活や環境などについて理解しているとともに、それらに係る技能を身に付けている。	これからの生活を展望し、家族・家庭や地域における生活の中から問題を見出して課題を設定し、解決策を考え、実践を評価・改善し、考察したことを倫理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	家族や地域の人々と共同し、よりよい生活の実現に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。
評価基準	到達度 80%以上 … A（十分満足できる） 到達度 50～79% … B（おおむね満足できる） 到達度 0～49% … C（努力を要する）		
評価方法	課題の提出状況と内容 ・プリント等への記述 ・実習	・課題の提出状況と内容 ・プリント等への記述 ・実習 ・定期考査	・活動中や課題への取り組み方の観察 ・ワークシート

\*通知票には各観点の到達度（A,B,C）に加え、各観点の到達度の平均値（0～100）も示します。